

表札取り付け説明書 (参考例)

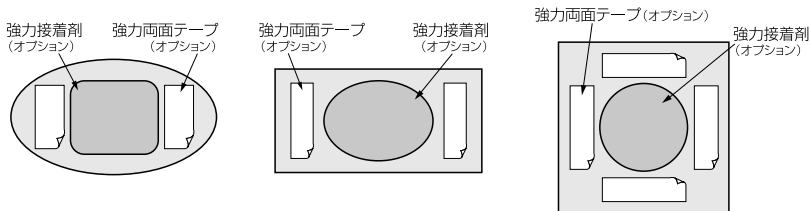
〈門柱開口部ナシ、壁に直付けの場合〉

この度は、丸三タカギ表札をご購入いただき、ありがとうございます。
表札の取り付け方法の参考例をご紹介します。

注意 ⚠️ 必ずご確認ください

- ガムテープなどで絶対に表札を仮固定しないで下さい。塗装や文字がはがれる恐れがあります。
- 取付壁面に凹凸や特殊コーティング等がある場合、両面テープや接着剤が機能しない場合があります。
- 両面テープのみで取り付けないでください。落下による破損や怪我の恐れがあります。
- ステンレスが使用されている全ての商品・部品類は、塩害(潮風に含まれる塩分による被害)・酸性雨・排気ガス・新築完成後の洗浄剤・その他の要因によりまれにもらい錆が発生する場合がございます。
特に、台風の後には内陸部でも塩害によるもらい錆が発生しやすくなりますので、天候回復次第、速やかにお拭き取り下さい。
拭き取る際は、濡ったタオルなどで拭いて下さい。仕上げに、乾いた柔らかな布でから拭きして下さい。
※洗剤などでは絶対に洗わないで下さい。
- エッチング商品・ドライエッチング商品では表面を固いタオルやシンナー等で拭きますと、塗料が剥がれることがあります。

① 外壁に直接貼っていただく場合 (薄型表札等)

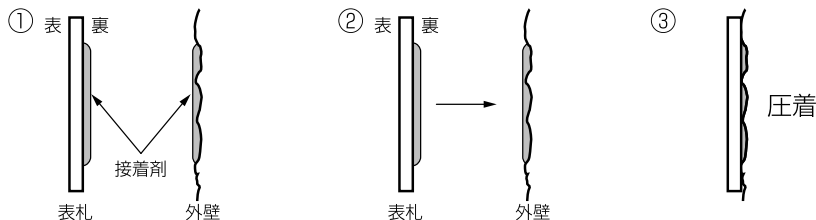


- オプションの強力両面テープと接着剤を併用して下さい。
- 外壁に凹凸がある場合は、取付下地の工事が必要です。

接着剤は、店頭オプションの表札メーカー推奨「強力接着剤」をご使用下さい。

② 外壁がデコボコしている場合 (表札との接着面が少ない場合)

オプションの強力両面テープと接着剤を併用して下さい。
両面テープは機能しない恐れがあります。



① 表札の裏面(少し内側)と、壁面の凹部を埋めるように接着剤を塗ります。

② 接着剤を塗布後、強く張り合わせてください。

③ 上の①のように接着剤が乾くまで強力両面テープで固定してください。

※外壁にデコボコ面が大きく、接着剤で接着面ができない場合は、施工業者、工務店に依頼され表札接地面を作っていただくことをおすすめいたします。